

九州経済国際化データ2014

Kyushu economic internationalization data

【 貿易編 】



< 概要版 >

2014年7月

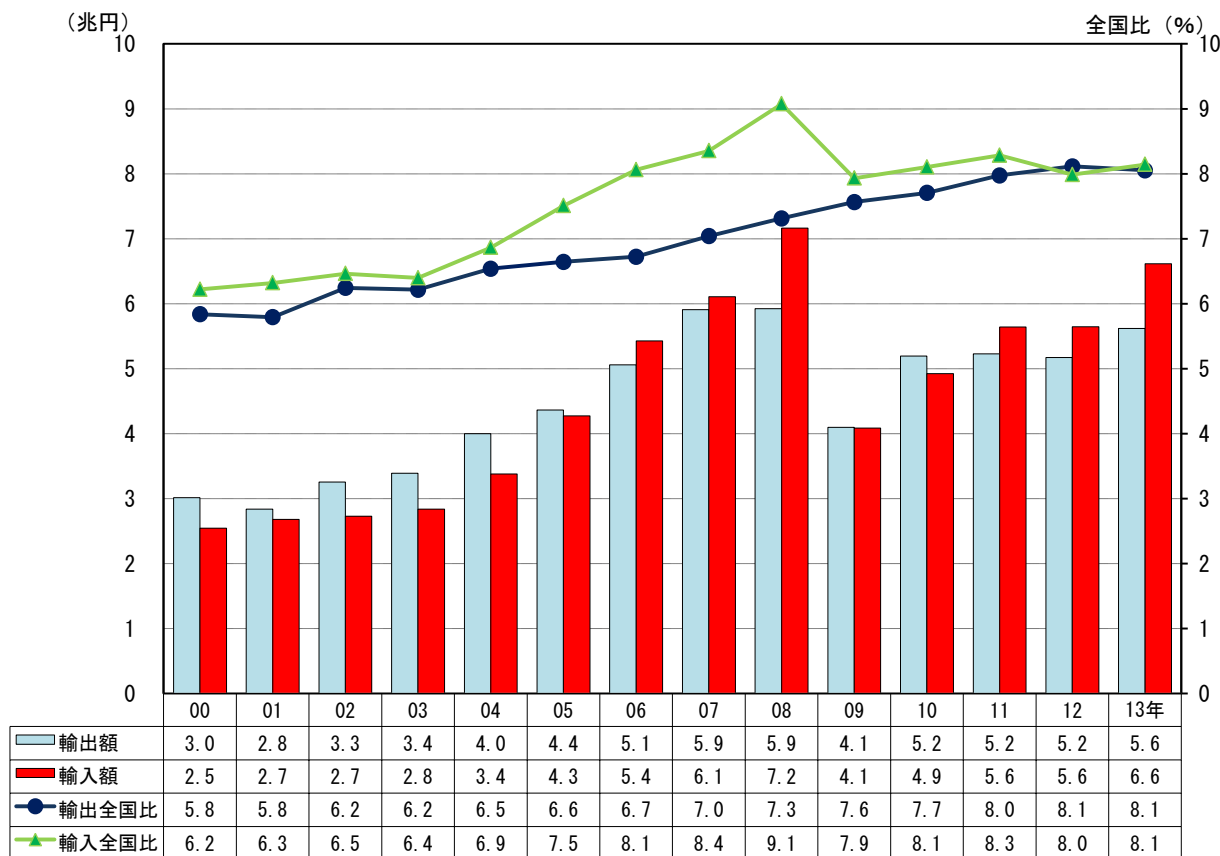
経済産業省 九州経済産業局

九州の貿易(総括)

○2013年の九州の対世界貿易総額は12兆2,356億円。輸出額が5兆6,203億円(前年比8.7%増)と2年ぶりに前年を上回ったものの、輸入額が6兆6,154億円(前年比17.2%増)と大きく伸び、3年連続で貿易赤字となった。

○九州の貿易額が全国に占める割合は、輸出入ともに近年は8%を超えている。

九州の対世界貿易額と全国比の推移



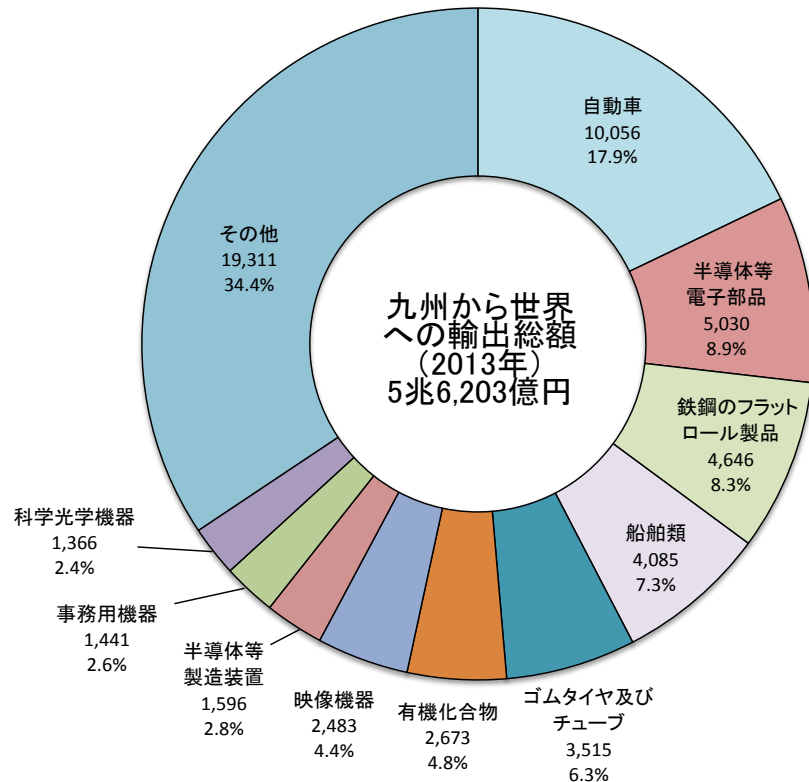
九州の品目別貿易動向

○九州から世界への輸出品目は、金額の多い順に、自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類、ゴムタイヤ及びチューブとなり、この5品目で全体の約5割を占める。2013年の輸出額増に最も大きく寄与した品目は有機化合物(寄与度+1.6%)で、中国、韓国、台湾向けなどが増加。

○輸入品目は、原油及び粗油、石油ガス類、石炭などの鉱物性燃料が5割近くを占めており、鉄鉱石や非鉄金属鉱などの原材料が続いている。2013年の輸入額増に最も大きく寄与した品目は原油及び粗油(寄与度+7.8%)で、ロシアやアラブ首長国連邦、サウジアラビア等からの輸入増が目立った。

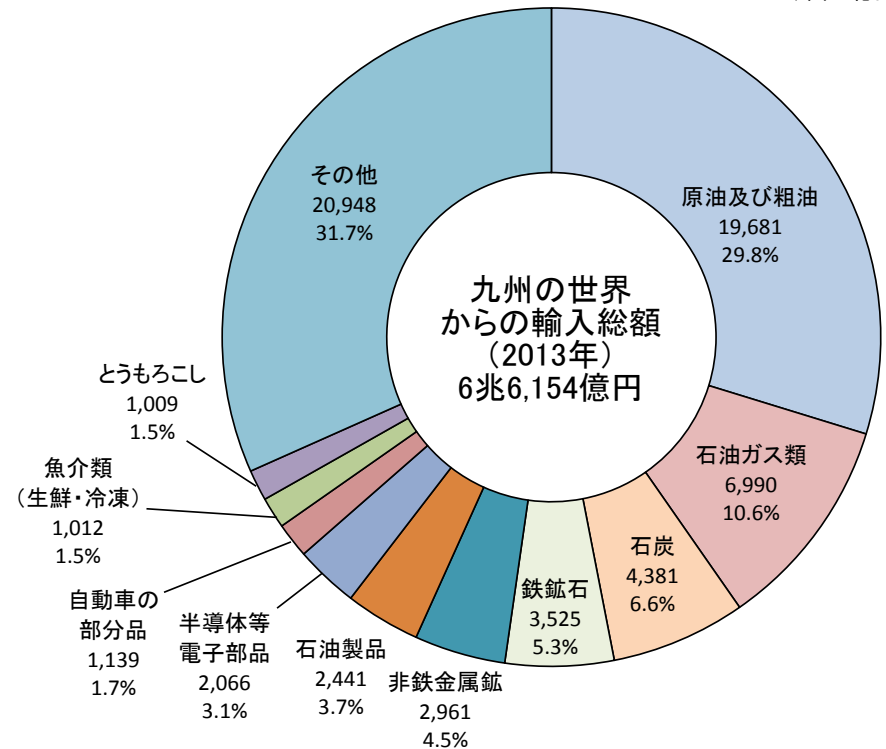
九州から世界への輸出品目(小分類)

(単位:億円、%)



九州の世界からの輸入品目(小分類)

(単位:億円、%)

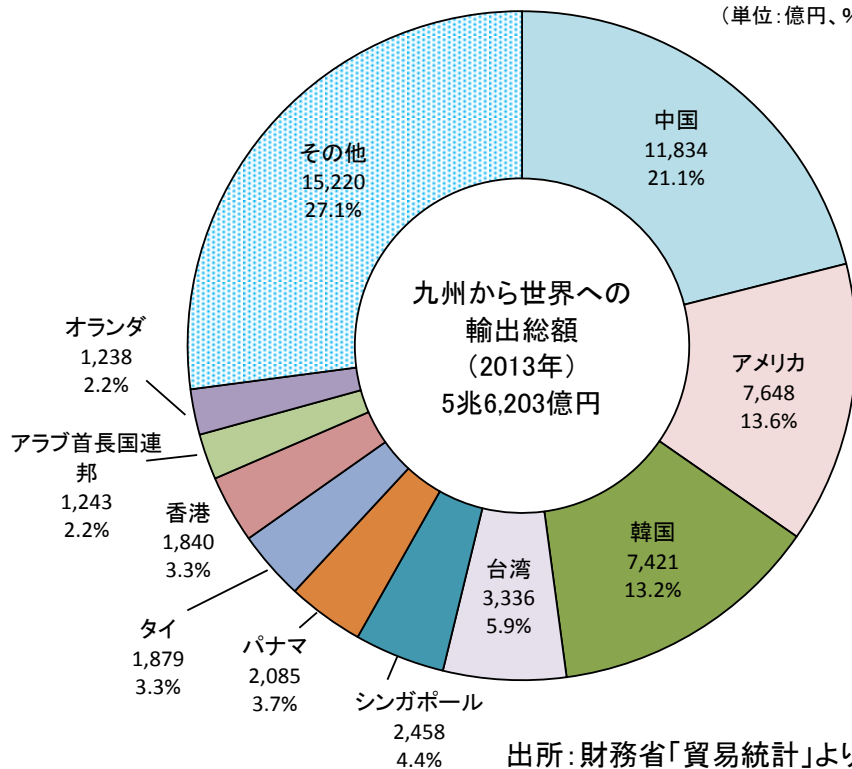


九州の国・地域別貿易動向

- 九州の最大の貿易相手国は中国であり、韓国、アメリカが続いている(貿易総額ベース)。
- 2013年の輸出については、有機化合物や自動車等が好調だった中国向けや、半導体等電子部品等が好調だった韓国向け等が大きく増加した。
- 輸入についても中国からの輸入が最も多いが、近年では鉱物性燃料や原材料品のウエイトが高まっており、オーストラリア(2013年の輸入額第2位)やサウジアラビア(同第3位)等、資源輸出国との取引が増加している。
- 2013年については、原油及び粗油や石油ガス類等が増加したロシアや、半導体等電子部品等が増加した中国からの輸入が伸びた。

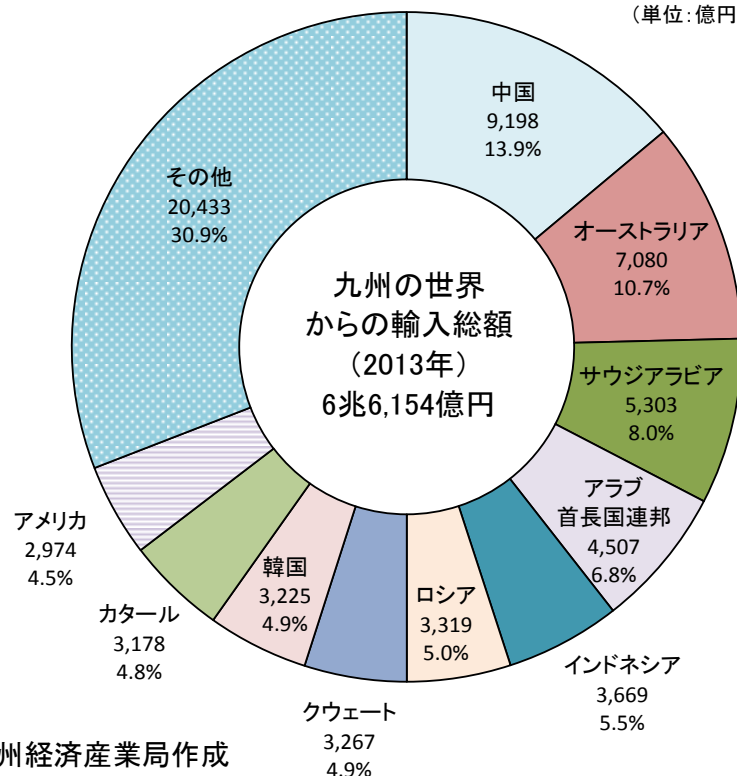
九州の輸出相手国・地域

(単位: 億円、%)



九州の輸入相手国・地域

(単位: 億円、%)

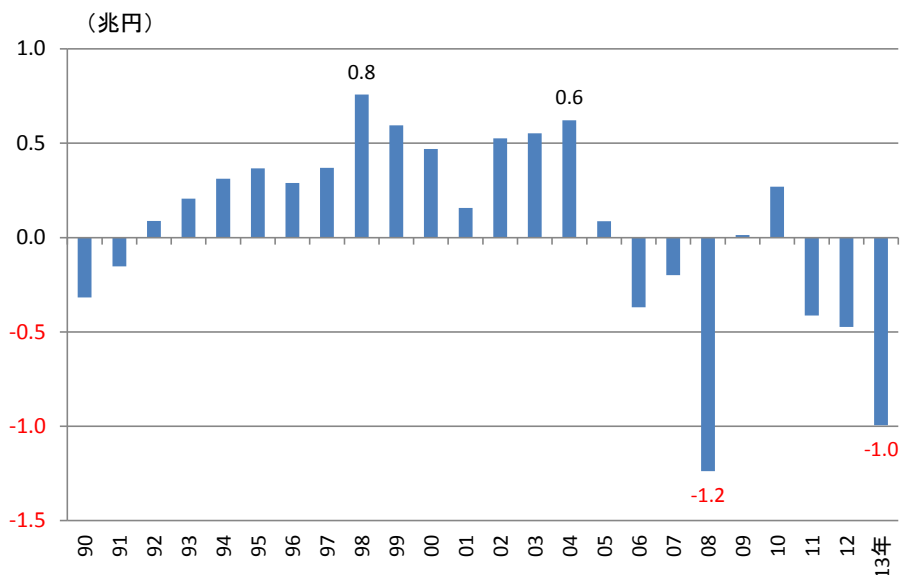


九州の貿易収支

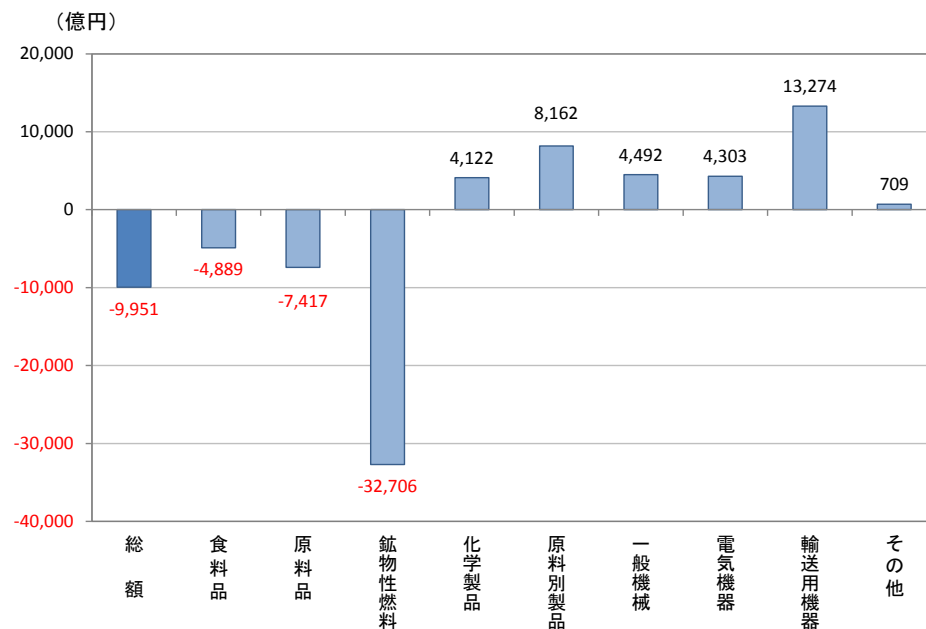
○2013年の九州の貿易収支は▲9,951億円。2008年の▲1兆2,386億円よりは小幅だったものの、大幅な貿易赤字となった(全国の2013年の貿易収支は▲11兆4,684億円と過去最大の赤字幅)。

○九州の貿易収支について品目別に見ると、輸送用機器や原料別製品等では輸出超過となっているものの、原油や天然ガス等を含む鉱物性燃料が大幅な輸入超過となり、結果、全体として輸入が輸出を上回った。

九州の貿易収支の推移



九州の品目別貿易収支(2013年)



(単位: 億円)

九州の相手国・地域別貿易収支(2013年)

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
アメリカ	4,674	オーストラリア	▲ 6,257
韓国	4,196	サウジアラビア	▲ 4,770
中国	2,636	アラブ首長国連邦	▲ 3,264
シンガポール	2,254	クウェート	▲ 3,067
パナマ	2,010	カタール	▲ 3,049
九州の貿易収支額(2013年) ▲9,951億円			

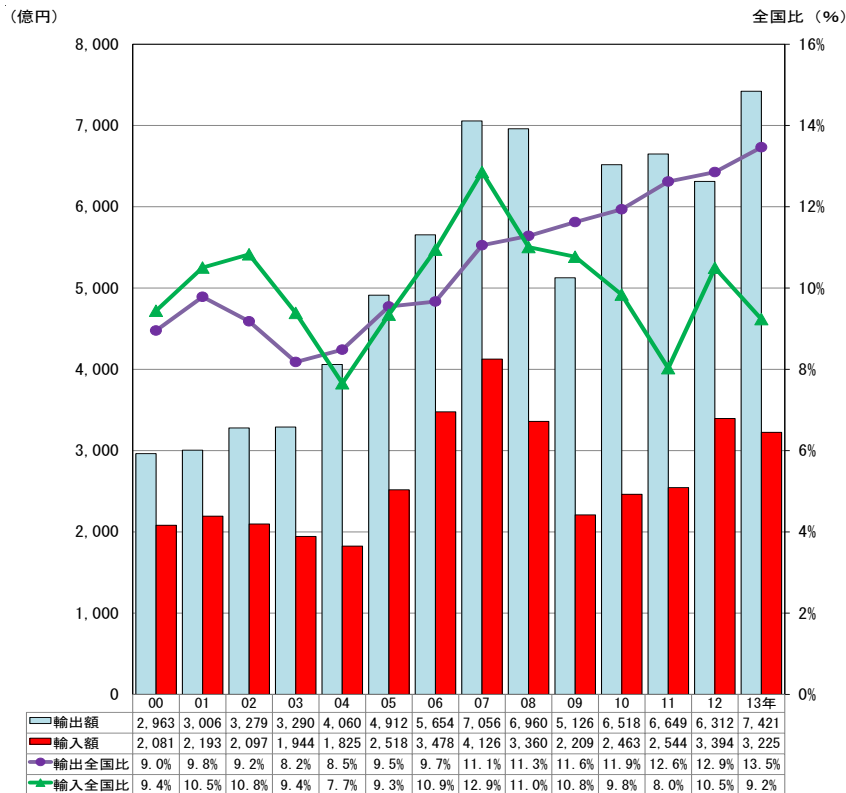
九州と韓国の貿易動向

○2013年の九州の対韓国貿易額は、輸出が7,421億円(前年比17.6%増)で2年ぶりの増加。輸入は3,225億円(前年比5.0%減)で4年ぶりの減少。輸出額については、過去最高となった。

○輸出品目(小分類ベース、以下同じ)は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置等となっており、2013年は半導体等電子部品や原動機、有機化合物等が好調で、前年を大きく上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品等となっており、2013年は半導体等電子部品や通信機等が減少し、前年を下回った。

九州の対韓国貿易額の推移



九州の対韓国輸出入品目(小分類)

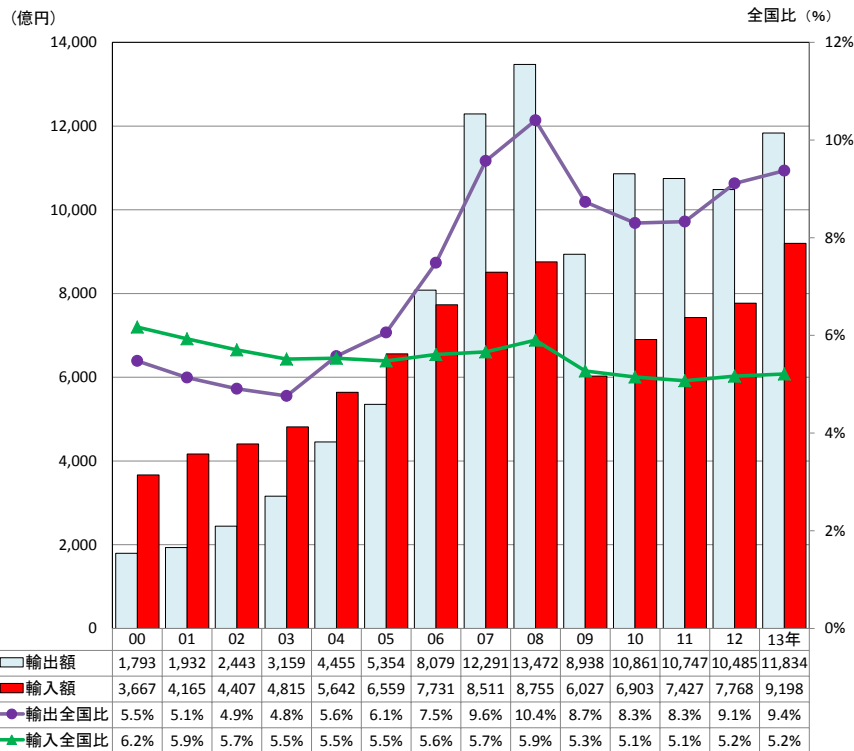
輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	7,421	100.0%
半導体等電子部品	1,268	17.1%
鉄鋼のフラットロール製品	927	12.5%
半導体等製造装置	811	10.9%
有機化合物	646	8.7%
科学光学機器	466	6.3%
(鉄鋼のくず)	246	3.3%
原動機	239	3.2%
石油製品	145	2.0%
自動車	107	1.4%
映像機器	72	1.0%
その他	2,494	33.6%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	3,225	100.0%
石油製品	816	25.3%
半導体等電子部品	363	11.3%
鉄鋼のフラットロール製品	223	6.9%
自動車の部分品	173	5.4%
有機化合物	104	3.2%
魚介類(生鮮・冷凍)	54	1.7%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	51	1.6%
通信機	50	1.5%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	43	1.3%
鉄鋼製構造物及び同建設機材	43	1.3%
その他	1,306	40.5%

九州と中国の貿易動向

- 2013年の九州の対中国貿易額は、輸出が1兆1,834億円(前年比12.9%増)で3年ぶりの増加。輸入は9,198億円(前年比18.4%増)で4年連続の増加。輸入額については、過去最高となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、有機化合物、半導体等電子部品等となっており、2013年は有機化合物をはじめ、自動車や半導体等製造装置等が好調で、前年を大きく上回った。
- 輸入品目は多岐にわたっており、2013年は半導体等電子部品が大幅に伸長したほか、自動車の部分品等も増加し、全体として前年を大きく上回る輸入額となった。

九州の対中国貿易額の推移



九州の対中国輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	11,834	100.0%
自動車	2,654	22.4%
有機化合物	1,152	9.7%
半導体等電子部品	1,062	9.0%
鉄鋼のフラットロール製品	802	6.8%
映像機器	752	6.4%
銅及び同合金	717	6.1%
半導体等製造装置	621	5.2%
科学光学機器	601	5.1%
(鉄鋼のくず)	193	1.6%
その他	3,280	27.7%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	9,198	100.0%
半導体等電子部品	801	8.7%
自動車の部分品	464	5.0%
事務用機器	462	5.0%
音響・映像機器(含部品)	378	4.1%
有機化合物	335	3.6%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	278	3.0%
野菜	239	2.6%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	205	2.2%
プラスチック製品	196	2.1%
衣類	194	2.1%
その他	5,646	61.4%

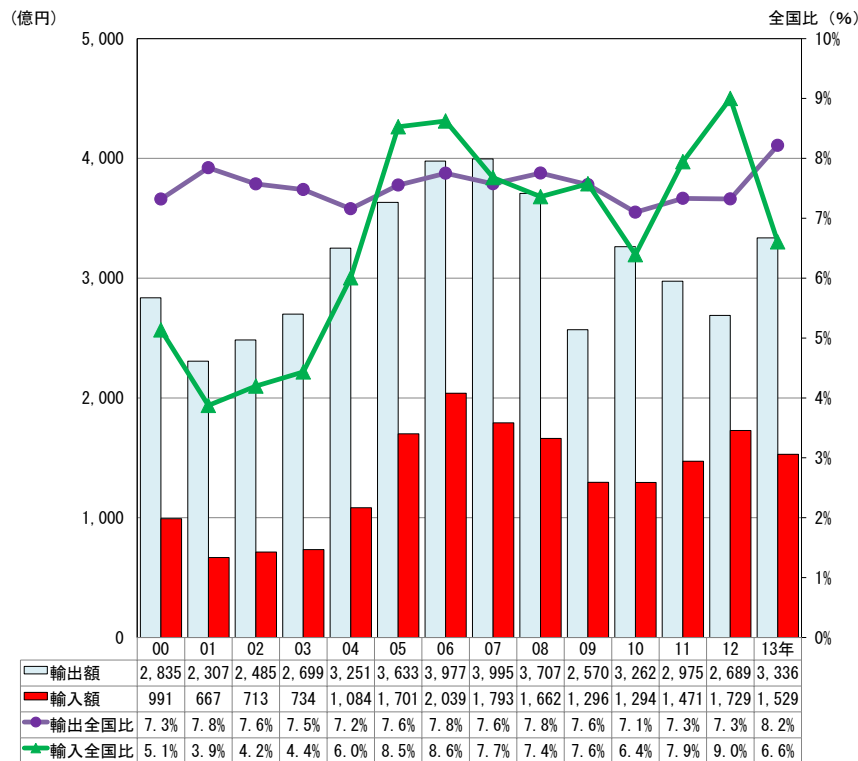
九州と台湾の貿易動向

○2013年の九州の対台湾貿易額は、輸出が3,336億円(前年比24.0%増)で3年ぶりの増加。輸入は1,529億円(前年比11.5%減)で3年ぶりの減少。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、自動車、有機化合物等となっており、2013年は自動車や有機化合物等が好調で前年を大きく上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、科学光学機器、非鉄卑金属くず等となっており、2013年は科学光学機器等が減少し、前年を下回った。

九州の対台湾貿易額の推移



九州の対台湾輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	3,336	100.0%
半導体等電子部品	494	14.8%
自動車	338	10.1%
有機化合物	298	8.9%
科学光学機器	170	5.1%
銅及び同合金	120	3.6%
鉄鋼のフラットロール製品	120	3.6%
半導体等製造装置	79	2.4%
無機化合物	56	1.7%
電気計測機器	51	1.5%
原動機	50	1.5%
その他	1,560	46.8%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	1,529	100.0%
半導体等電子部品	467	30.5%
科学光学機器	229	15.0%
非鉄卑金属くず	72	4.7%
通信機	56	3.7%
合成ゴム	23	1.5%
音響・映像機器(含部品)	20	1.3%
有機化合物	20	1.3%
プラスチック製品	20	1.3%
鉄鋼のフラットロール製品	18	1.2%
その他	605	39.5%

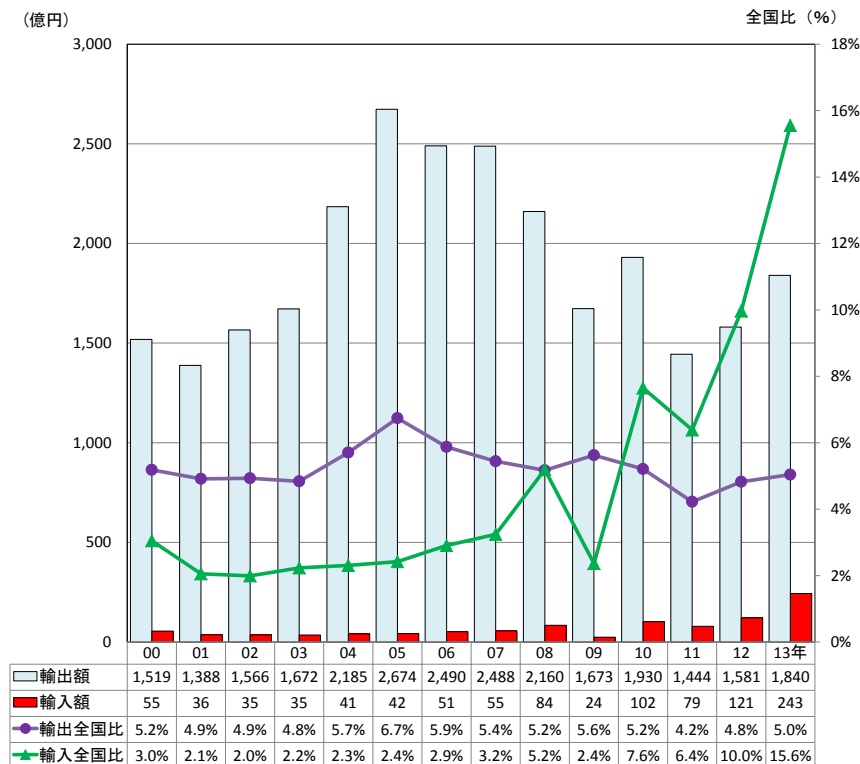
九州と香港の貿易動向

○2013年の九州の対香港貿易額は、輸出が1,840億円(前年比16.4%増)で2年連続の増加。輸入は243億円(前年比101.0%増)で2年連続の増加。輸入額については、過去最高となった。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、映像機器、船舶類等となっており、2013年は映像機器や半導体等電子部品、石油製品等が好調で前年を大きく上回った。

○輸入品目は、魚介類(生鮮・冷凍)〈うなぎの稚魚〉が大半を占めており、同品目の伸びが輸入額を大きく押し上げた。

九州の対香港貿易額の推移



九州の対香港輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	1,840	100.0%
半導体等電子部品	572	31.1%
映像機器	204	11.1%
船舶類	169	9.2%
石油製品	97	5.3%
有機化合物	61	3.3%
自動車	59	3.2%
建設用・鉱山用機械	46	2.5%
鉄鋼のフラットロール製品	37	2.0%
科学光学機器	34	1.8%
ゴムタイヤ及びチューブ	22	1.2%
その他	538	29.3%

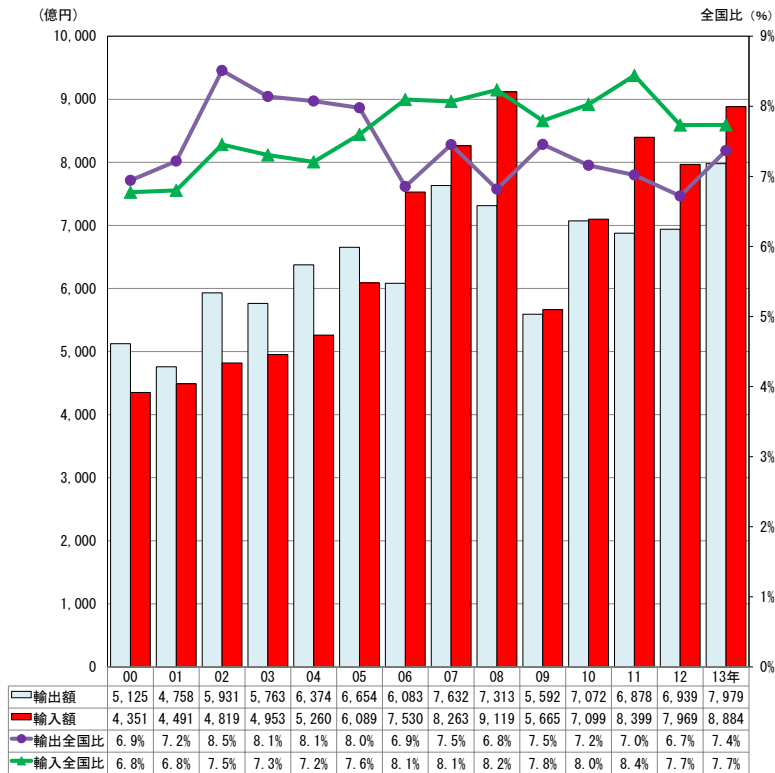
輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	243	100.0%
魚介類(生鮮・冷凍)	201	82.6%
鉄鋼くず	9	3.8%
事務用機器	3	1.3%
通信機	2	1.0%
重電機器	2	0.7%
電気回路等の機器	1	0.6%
その他	24	10.1%

九州とASEANの貿易動向①

○2013年の九州の対ASEAN貿易額は、輸出が7,979億円(前年比15.0%増)で2年連続の増加。輸入は8,884億円(前年比11.5%増)で2年ぶりの増加。輸出額については、過去最高となった。

○ASEANにおいて、九州からの輸出額が最も多い国は、船舶類や映像機器等を多く輸出しているシンガポールで、次いでタイ、マレーシア等となっている。一方、輸入額については原油及び粗油や石炭等を輸入しているインドネシアからが最も多く、タイ、マレーシアが続いている。

九州の対ASEAN貿易額の推移



九州のASEAN域内における国別輸出入動向

(単位:億円、%)

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	984	12.3%	16.7%	2.0%	9.6%	959	10.8%	-4.1%	-0.5%	6.9%
タイ	1,879	23.5%	11.7%	2.8%	5.4%	1,771	19.9%	9.6%	2.0%	8.2%
シンガポール	2,458	30.8%	3.7%	1.3%	12.0%	204	2.3%	-40.6%	-1.7%	2.8%
マレーシア	1,187	14.9%	51.8%	5.8%	8.0%	1,223	13.8%	43.8%	4.7%	4.2%
ブルネイ	6	0.1%	127.9%	0.1%	4.2%	117	1.3%	13339倍	1.5%	2.5%
フィリピン	510	6.4%	-3.2%	-0.2%	5.4%	891	10.0%	47.4%	3.6%	9.9%
インドネシア	887	11.1%	26.8%	2.7%	5.3%	3,669	41.3%	3.9%	1.7%	13.0%
カンボジア	11	0.1%	10.0%	0.01%	5.3%	35	0.4%	237.2%	0.3%	6.2%
ラオス	0.1	0.00%	-67.9%	0.00%	0.1%	2	0.02%	26.0%	0.01%	2.0%
ミャンマー	57	0.7%	149.3%	0.5%	5.6%	13	0.1%	22.7%	0.03%	1.7%
ASEAN 計	7,979	100.0%	15.0%	15.0%	7.4%	8,884	100.0%	11.5%	11.5%	7.7%

(単位:億円、%)

九州とASEANの貿易動向②

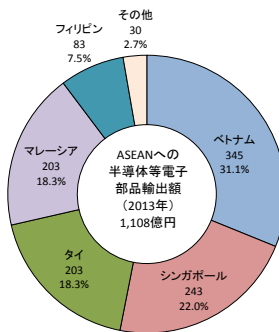
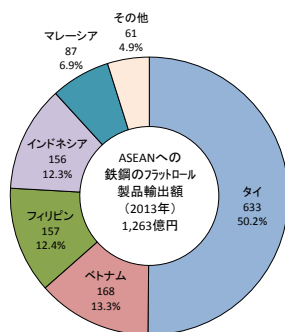
○輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品(タイ向けが最も多い)、半導体等電子部品(ベトナム・シンガポール・タイ・マレーシア向けが多い)、船舶類(シンガポール向けが大半)等となっており、2013年は銅及び同合金(マレーシア向け等が増加)や自動車(マレーシア・インドネシア向け等が増加)等が好調で、前年を大幅に上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類(インドネシアとマレーシアからが大半)、原油及び粗油(インドネシアからが最も多い)、石炭(インドネシアからが大半)等となっており、2013年は石油ガス類(マレーシア・ブルネイ等からが増加)等が増加し、前年を大幅に上回った。

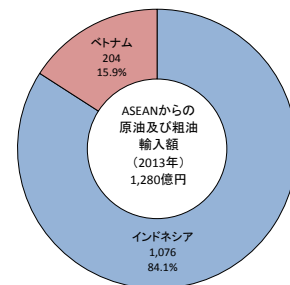
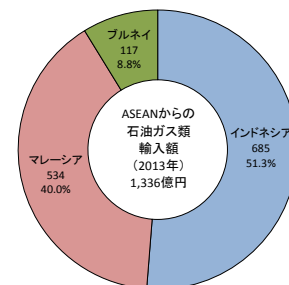
九州の対ASEAN輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	7,979	100.0%
鉄鋼のフラットロール製品	1,263	15.8%
半導体等電子部品	1,108	13.9%
船舶類	497	6.2%
銅及び同合金	430	5.4%
自動車	318	4.0%
事務用機器	290	3.6%
映像機器	252	3.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	232	2.9%
有機化合物	226	2.8%
ゴムタイヤ及びチューブ	205	2.6%
構造物及び同建設材	182	2.3%
その他	2,977	37.3%

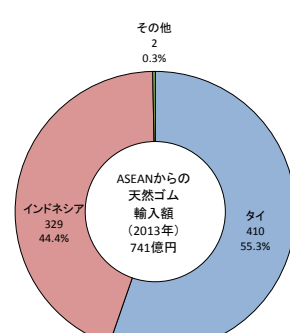
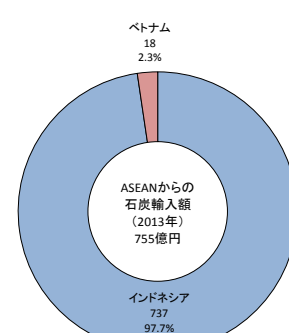
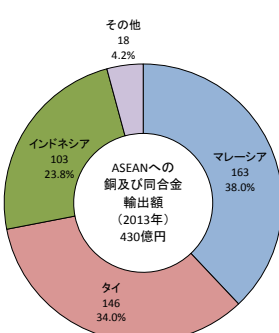
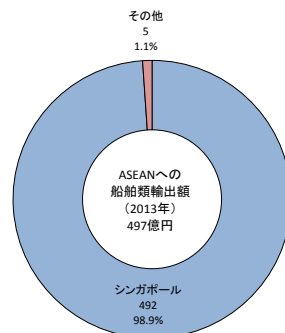
九州のASEANへの主要輸出品目別相手国



九州のASEANからの主要輸入品目別相手国



輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	8,884	100.0%
石油ガス類	1,336	15.0%
原油及び粗油	1,280	14.4%
石炭	755	8.5%
天然ゴム	741	8.3%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	508	5.7%
自動車の部分品	337	3.8%
非鉄金属鉱	302	3.4%
石油製品	265	3.0%
半導体等電子部品	204	2.3%
魚介類(生鮮・冷凍)	132	1.5%
その他	3,025	34.1%



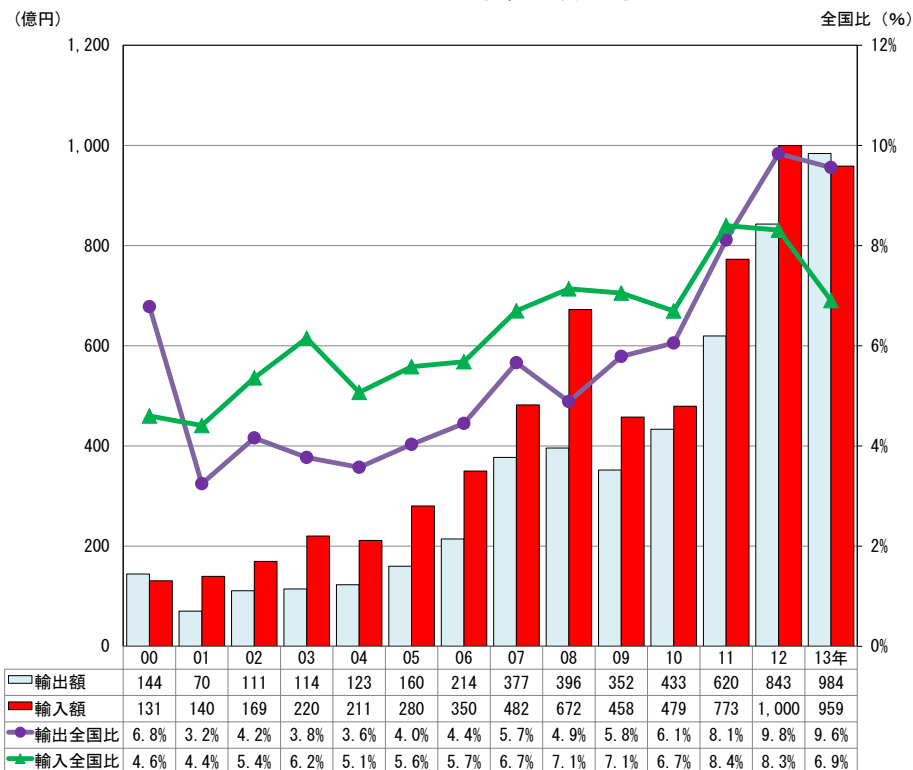
九州とベトナムの貿易動向

○2013年の九州の対ベトナム貿易額は、輸出が984億円(前年比16.7%増)で4年連続の増加。輸入は959億円(前年比4.1%減)で4年ぶりの減少。輸出額については、過去最高となった。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、事務用機器等となっており、2013年は半導体等電子部品や荷役機械等が好調で前年を大きく上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、原油及び粗油、絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等となっており、2013年は原油及び粗油の輸入が大幅に減少し、前年を下回った。

九州の対ベトナム貿易額の推移



九州の対ベトナム輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	984	100.0
半導体等電子部品	345	35.1
鉄鋼のフラットロール製品	168	17.1
事務用機器	107	10.9
荷役機械	43	4.4
ゴムタイヤ及びチューブ	28	2.9
魚介類(生鮮)	27	2.8
有機化合物	20	2.1
銅及び同合金	16	1.6
二輪自動車類	16	1.6
鉄鋼の棒・形鋼及び線	16	1.6
その他	197	20.0

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	959	100.0
原油及び粗油	204	21.2
絶縁電線及び絶縁ケーブル	193	20.1
パルプウッド等	78	8.2
魚介類(生鮮・冷凍)	36	3.7
プラスチック製品	25	2.7
コック・弁類	22	2.3
自動車の部分品	20	2.1
魚介類の調製品	19	2.0
科学光学機器	18	1.9
石炭	18	1.8
その他	326	34.1

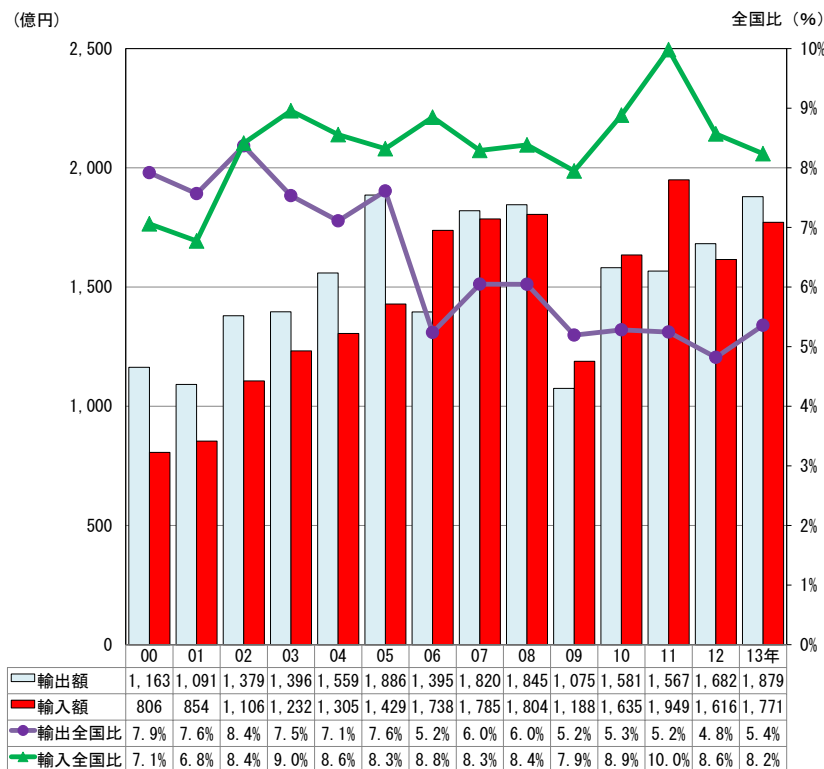
九州とタイの貿易動向

○2013年の九州の対タイ貿易額は、輸出が1,879億円(前年比11.7%増)で2年連続の増加。輸入は1,771億円(前年比9.6%増)で2年ぶりの増加。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線等となっており、2013年は銅及び同合金や半導体等電子部品等が好調で前年を大きく上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、天然ゴム、自動車の部分品、すず及び同合金等となっており、2013年は自動車の部分品等が増加し、前年を上回った。

九州の対タイ貿易額の推移



九州の対タイ輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	1,879	100.0%
鉄鋼のフラットロール製品	633	33.7%
半導体等電子部品	203	10.8%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	172	9.2%
銅及び同合金	146	7.8%
有機化合物	112	6.0%
原動機	43	2.3%
自動車	39	2.1%
ポリエチレン	32	1.7%
半導体等製造装置	23	1.2%
自動車の部分品	20	1.1%
その他	455	24.2%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	1,771	100.0%
天然ゴム	410	23.1%
自動車の部分品	203	11.5%
すず及び同合金	57	3.2%
科学光学機器	42	2.4%
音響・映像機器(含部品)	39	2.2%
バルブウッド等	38	2.1%
半導体等電子部品	37	2.1%
ポンプ及び遠心分離機	35	2.0%
有機化合物	34	1.9%
プラスチック製品	32	1.8%
その他	843	47.6%

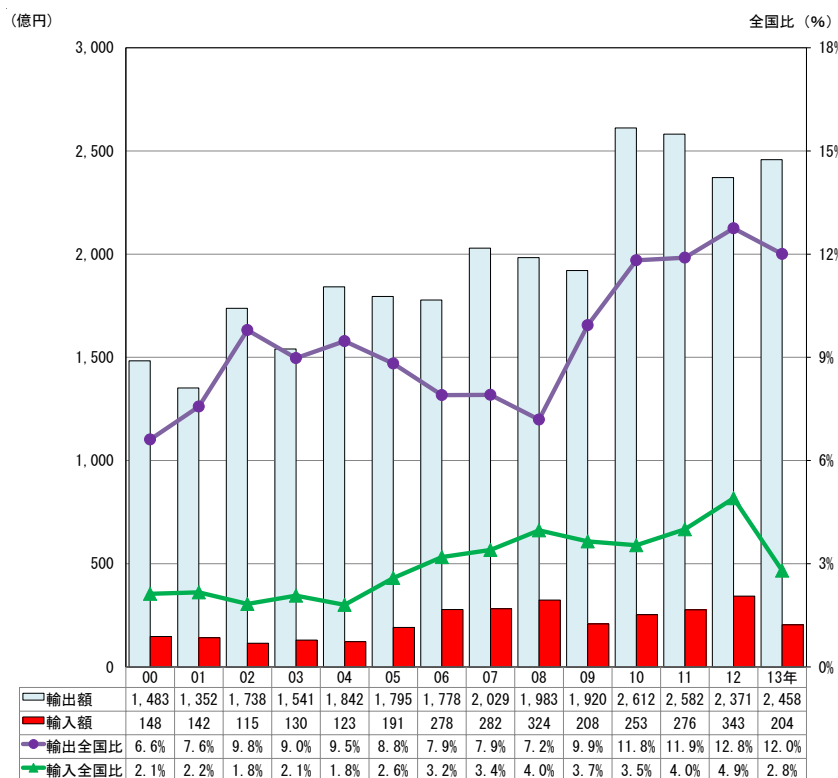
九州とシンガポールの貿易動向

○2013年の九州の対シンガポール貿易額は、輸出が2,458億円（前年比3.7%増）で3年ぶりの増加。輸入は204億円（前年比40.6%減）で4年ぶりの減少。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、船舶類、映像機器、半導体等電子部品等となっており、2013年は石油製品や船舶類等が好調で前年を上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、非鉄卑金属くず、科学光学機器等となっており、2013年は半導体等電子部品が大幅に減少したことなどから、前年を大きく下回った。

九州の対シンガポール貿易額の推移



九州の対シンガポール輸出入品目(小分類)

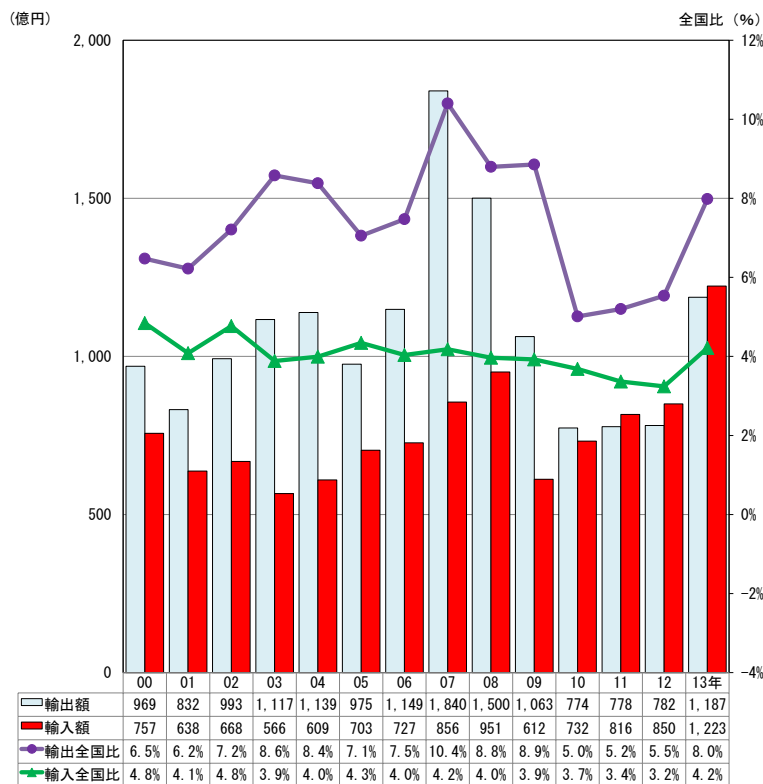
輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	2,458	100.0%
船舶類	492	20.0%
映像機器	249	10.1%
半導体等電子部品	243	9.9%
構造物及び同建設材	181	7.4%
石油製品	155	6.3%
事務用機器	147	6.0%
鉄鋼のフラットロール製品	58	2.4%
アルミニウム及び同合金	52	2.1%
セメント	28	1.2%
その他	853	34.7%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	204	100.0%
半導体等電子部品	79	39.0%
非鉄卑金属くず	26	13.0%
科学光学機器	24	12.0%
合成樹脂	5	2.4%
石油製品	3	1.7%
ふすま	2	0.9%
ポリエチレン	2	0.7%
その他	62	30.4%

九州とマレーシアの貿易動向

- 2013年の九州の対マレーシア貿易額は、輸出が1,187億円(前年比51.8%増)で3年連続の増加。輸入は1,223億円(前年比43.8%増)で4年連続の増加。輸出入ともに前年を大きく上回り、輸入額については、過去最高となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、銅及び同合金、自動車等となっており、2013年は銅及び同合金が大きく伸長したほか、金(マネターゴールドを除く)や自動車等も好調で前年を大幅に上回った。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類、石油製品、合板・ウッドパネル等となっており、2013年は石油ガス類や石油製品等が大幅に増加し、前年を大きく上回った。

九州の対マレーシア貿易額の推移



九州の対マレーシア輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	1,187	100.0%
半導体等電子部品	203	17.1%
銅及び同合金	163	13.8%
自動車	107	9.0%
鉄鋼のフラットロール製品	87	7.4%
荷役機械	50	4.2%
ガラス及び同製品	33	2.8%
塗料類	28	2.4%
原動機	22	1.9%
無機化合物	17	1.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	14	1.1%
その他	464	39.1%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	1,223	100.0%
石油ガス類	534	43.7%
石油製品	240	19.6%
合板・ウッドパネル	67	5.5%
音響・映像機器(含部品)	67	5.5%
植物性原材料	27	2.2%
科学光学機器	19	1.5%
半導体等電子部品	17	1.4%
ポリエチレン	14	1.1%
自動車の部分品	13	1.0%
家庭用電気機器	11	0.9%
その他	214	17.5%

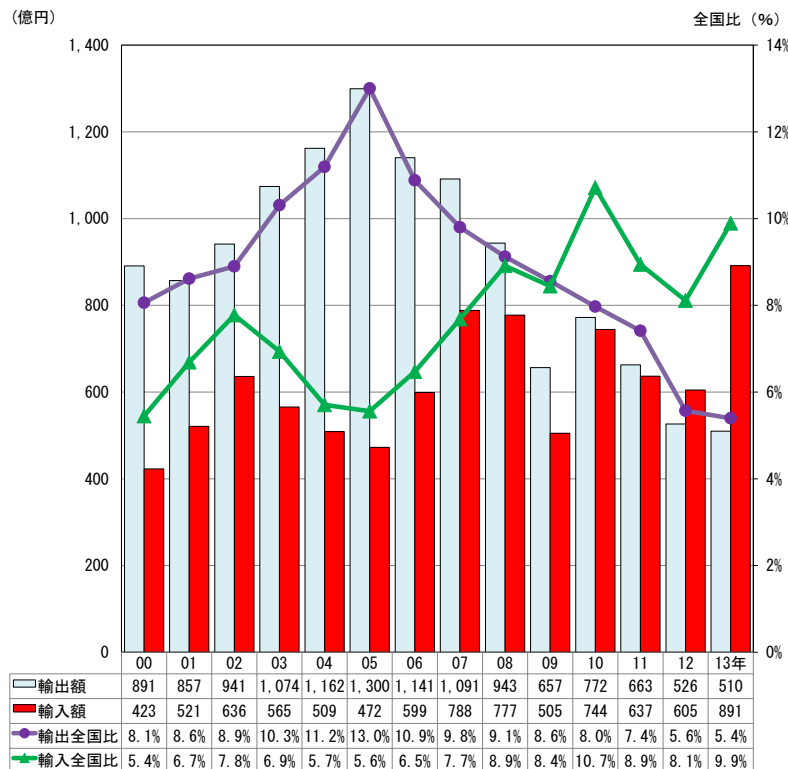
九州とフィリピンの貿易動向

○2013年の九州の対フィリピン貿易額は、輸出が510億円(前年比3.2%減)で3年連続の減少。輸入は891億円(前年比47.4%増)で3年ぶりの増加。輸入額については、過去最高となった。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、自動車等となっており、2013年は船舶類等が低調で前年を下回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実等となっており、2013年は船舶類や非鉄金属鉱、絶縁電線及び絶縁ケーブル等が増加し、前年を大きく上回った。

九州の対フィリピン貿易額の推移



九州の対フィリピン輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	510	100.0%
鉄鋼のフラットロール製品	157	30.7%
半導体等電子部品	83	16.4%
自動車	29	5.6%
有機化合物	27	5.2%
織物用糸	25	4.9%
科学光学機器	25	4.9%
事務用機器	17	3.3%
原動機	14	2.7%
二輪自動車類	8	1.6%
ポンプ及び遠心分離機	7	1.5%
その他	118	23.2%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	891	100.0%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	219	24.6%
非鉄金属鉱	140	15.7%
果実	91	10.2%
船舶類	72	8.1%
半導体等電子部品	58	6.5%
建築用木工品及び木製建具	56	6.3%
自動車の部分品	48	5.4%
重電機器	30	3.3%
非鉄金属屑	22	2.5%
プラスチック製品	13	1.4%
その他	142	15.9%

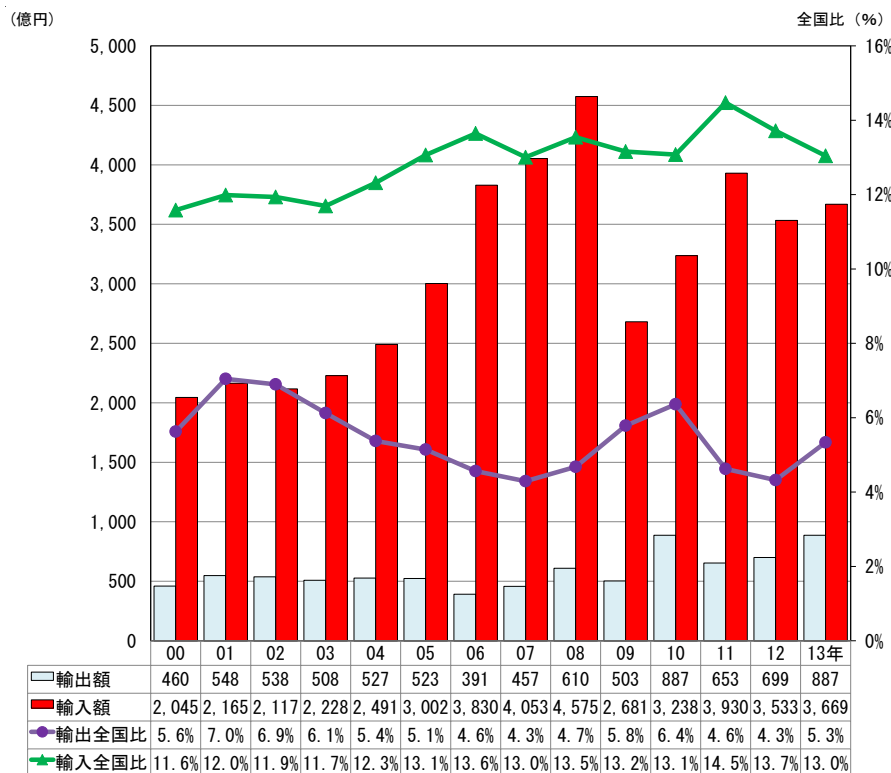
九州とインドネシアの貿易動向

○2013年の九州の対インドネシア貿易額は、輸出が887億円(前年比26.8%増)で2年連続の増加。輸入は3,669億円(前年比3.9%増)で2年ぶりの増加。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、銅及び同合金等となっており、2013年は銅及び同合金や自動車、鉄鋼のフラットロール製品等が好調で前年を大きく上回った。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、原油及び粗油、石炭、石油ガス類等となっており、2013年は原油及び粗油等が増加し、前年を上回った。

九州の対インドネシア貿易額の推移



九州の対インドネシア輸出入品目(小分類)

輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
総額	887	100.0%
鉄鋼のフラットロール製品	156	17.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	132	14.9%
銅及び同合金	103	11.6%
自動車	82	9.2%
有機化合物	52	5.8%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	39	4.4%
半導体等電子部品	30	3.4%
無機化合物	27	3.1%
電気回路等の機器	24	2.8%
原動機	23	2.6%
その他	219	24.7%

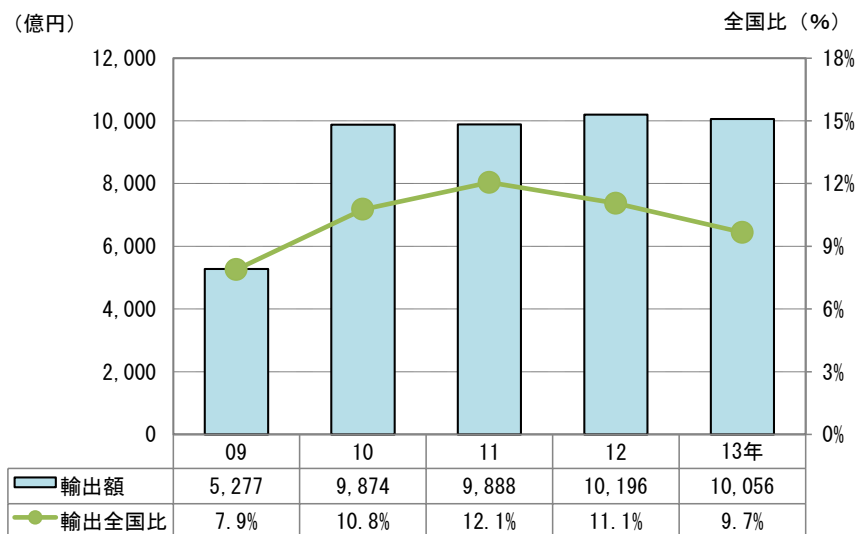
輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
総額	3,669	100.0%
原油及び粗油	1,076	29.3%
石炭	737	20.1%
石油ガス類	685	18.7%
天然ゴム	329	9.0%
非鉄金属鉱	159	4.3%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	68	1.8%
アルミニウム及び同合金	63	1.7%
合板・ウッドパネル	58	1.6%
魚介類(生鮮・冷凍)	54	1.5%
自動車の部分品	52	1.4%
その他	389	10.6%

九州の産業別貿易動向①(自動車)

○2013年の九州の自動車輸出額は1兆56億円(前年比1.4%減)。4年ぶりの減少となったものの、前年に引き続き、輸出額が1兆円を超えた。輸出先は、アメリカが最も多く、次いで中国、アラブ首長国連邦等となっている。

○2013年については、中国やアラブ首長国連邦向けは好調だったものの、アメリカやロシア向けが低調で前年を下回った。

九州の自動車輸出額の推移

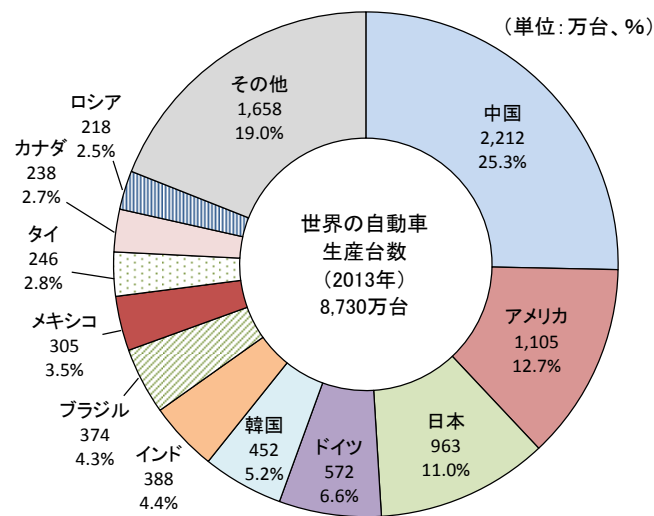


九州の自動車の主な輸出相手国・地域

単位: 億円、%

2013年		
	金額	構成比
九州		
アメリカ	3,772	37.5%
中国	2,654	26.4%
アラブ首長国連邦	773	7.7%
台湾	338	3.4%
メキシコ	314	3.1%
その他	2,206	21.9%
計	10,056	100.0%

世界の自動車生産台数

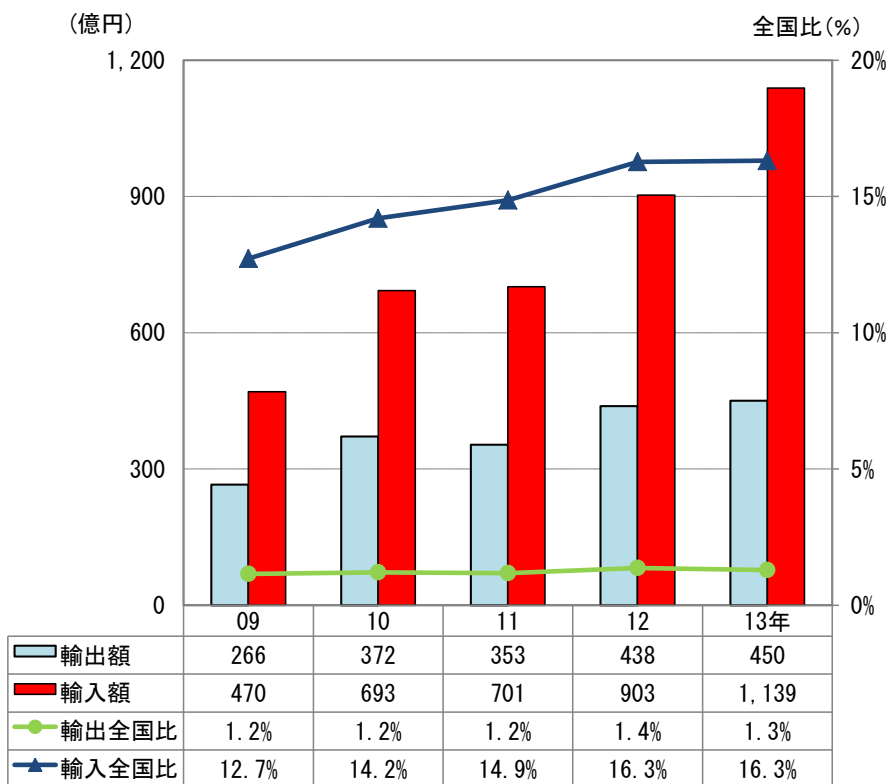


九州の産業別貿易動向②(自動車の部分品)

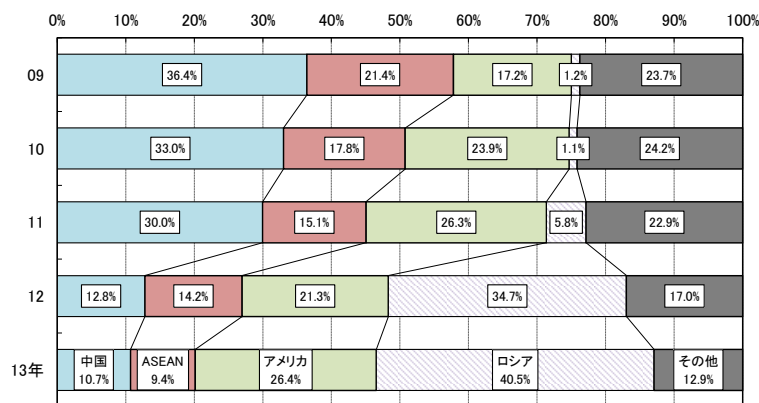
○2013年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出額は450億円(前年比2.7%増)で、輸入額が1,139億円(前年比26.1%増)。輸出先は、ロシアが最も多く、次いでアメリカ、中国等となっている。輸入元については、中国が最も多く、次いでタイ、韓国等となっている。

○輸出については、アメリカやロシア向けは好調だったものの、タイや韓国向けは低調だった。輸入については、中国から大幅に増加するなどして前年を大きく上回った。

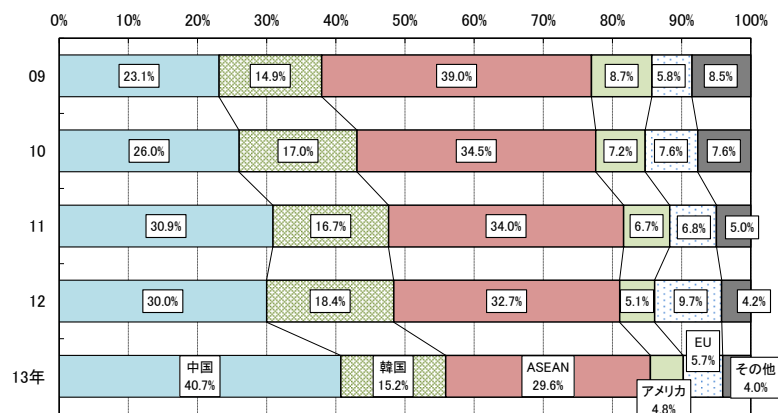
九州の自動車の部分品貿易額の推移



九州の自動車の部分品の輸出相手国・地域の推移



九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移

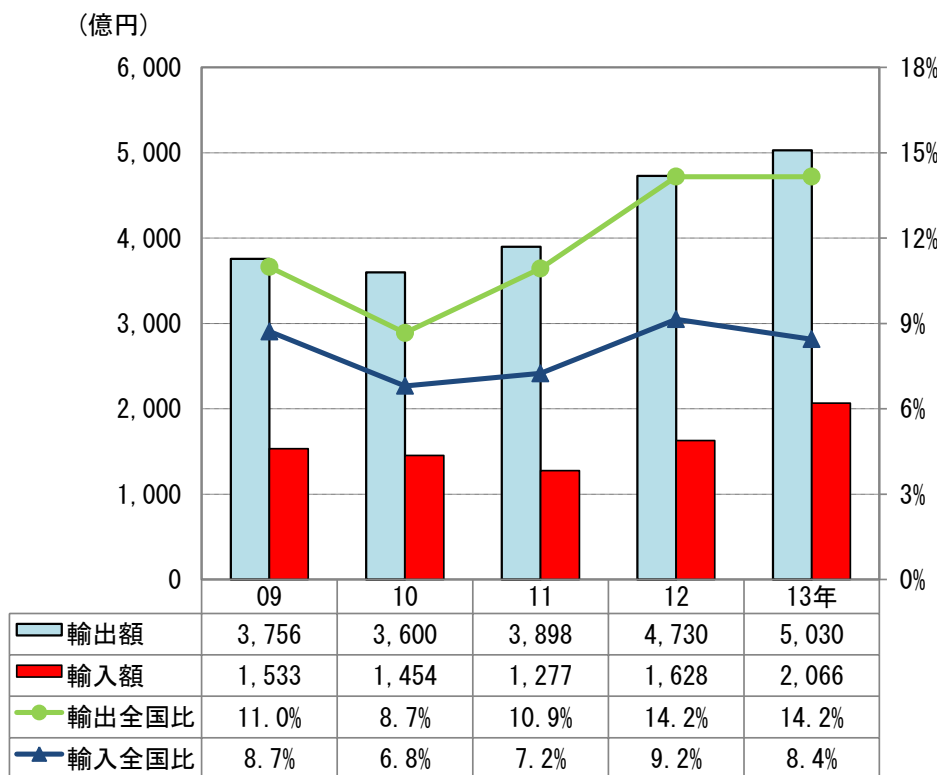


九州の産業別貿易動向③(半導体等電子部品)

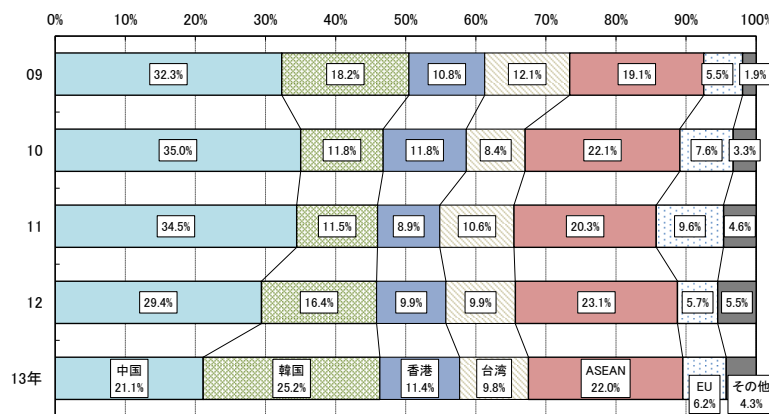
○2013年の九州の半導体等電子部品の貿易額は、輸出額は5,030億円(前年比6.3%増)で、輸入額が2,066億円(前年比26.9%増)。輸出先は韓国が最も多く、次いで中国、香港等となっている。輸入元については、中国が最も多く、次いで台湾、韓国等となっている。2013年の輸入については、光電池等の輸入が大幅に増加し、全体を押し上げた。

○輸出については、韓国向けが大幅に伸びたほか、タイ向けも好調だったものの、中国やシンガポール向けは低調だった。輸入については、中国からが大幅に伸びたほか、英国からも増加したものの、シンガポールや韓国からは減少した。

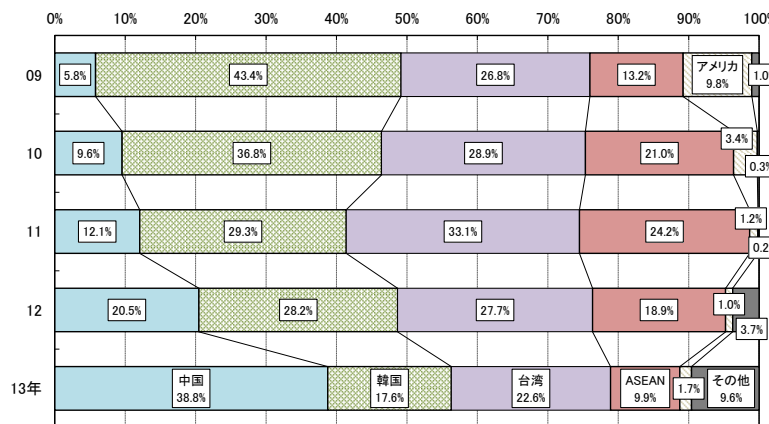
九州の半導体等電子部品の貿易額推移



九州の半導体等電子部品の主な輸出相手国・地域



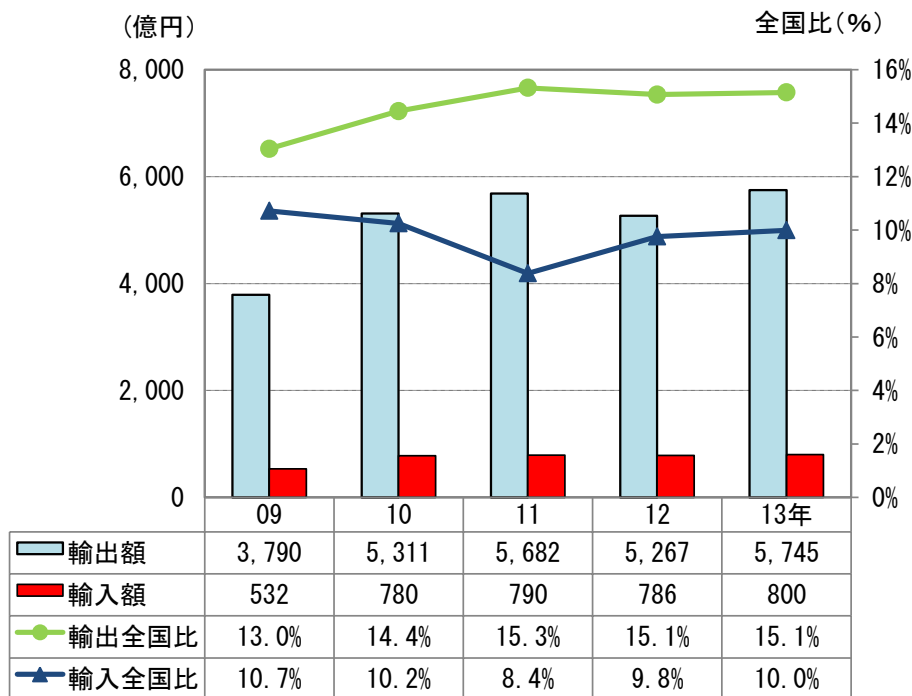
九州の半導体等電子部品の主な輸入相手国・地域



九州の産業別貿易動向④(鉄鋼)

- 2013年の九州の鉄鋼の貿易額は、輸出額は5,745億円(前年比9.1%増)で、輸入額が800億円(前年比1.8%増)。輸出先・輸入元ともに韓国がトップで、次に中国が続いており、第3位は輸出ではタイ、輸入ではカザフスタンとなっている。
- 輸出については、韓国やサウジアラビア、インドネシア向け等が好調だった。輸入については、カザフスタンやロシアからが増加したものの、韓国やドイツからは減少した。

九州の鉄鋼貿易額の推移



九州の鉄鋼の主な輸出入相手国・地域

(単位: 億円、%)

輸出	輸出		九州	輸入	
	金額	構成比		金額	構成比
九州			九州		
韓国	993	17.3%	韓国	291	36.3%
中国	925	16.1%	中国	88	10.9%
タイ	817	14.2%	カザフスタン	84	10.5%
アメリカ	374	6.5%	南アフリカ共和国	74	9.2%
メキシコ	229	4.0%	ブラジル	56	7.0%
その他	2,407	41.9%	その他	208	26.0%
計	5,745	100.0%	計	800	100.0%

【参考】主要国の粗鋼生産量

(単位: 百万トン、%)

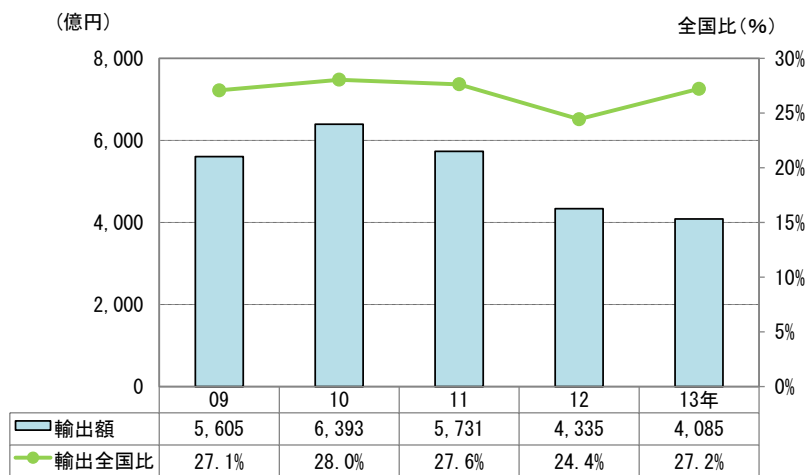
	2010年	2011年	2012年	2013年	構成比
EU	173	178	169	166	10.5%
ロシア	67	69	70	69	4.4%
アメリカ	80	86	89	87	5.5%
日本	110	108	107	111	7.0%
九州	16	16	16	17	1.0%
中国	639	702	717	779	49.2%
韓国	58	69	69	66	4.2%
台湾	20	20	21	22	1.4%
ブラジル	33	35	35	34	2.2%
その他	238	254	253	232	14.6%
世界計	1,433	1,537	1,545	1,582	100.0%

九州の産業別貿易動向⑤(船舶類)

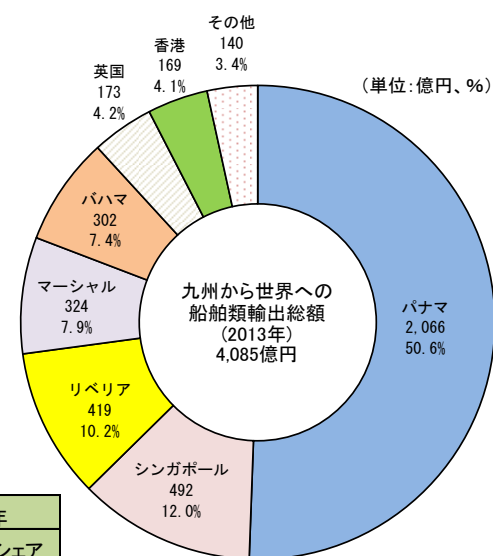
○2013年の九州の船舶類の輸出額は4,085億円(前年比5.8%減)で、3年連続の減少となった。輸出先はパナマが最も多く、次いでシンガポール、リベリア等となっている。

○船舶類については、九州の輸出額が全国の3割近くを占めており、また、竣工量においても世界全体の5%弱(2012年値)を占めるなど、九州の主力輸出品目の一つとなっているが、最近では中国や韓国などが生産能力を大きく伸ばしており、輸出額がやや伸び悩んでいる。

九州の船舶類輸出額の推移



九州の船舶類の輸出相手国・地域



主要造船国の竣工量推移

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア	千総トン	シェア
日本	18,972	24.6%	20,218	21.0%	19,367	19.0%	17,426	18.2%	14,588	20.7%
うち九州	5,440	7.1%	5,237	5.4%	5,500	5.4%	4,536	4.7%	-	-
韓国	28,849	37.4%	31,698	32.9%	35,850	35.2%	31,583	33.0%	24,504	34.8%
中国	21,969	28.5%	36,437	37.8%	39,609	38.9%	39,003	40.8%	25,903	36.8%
フィリピン	572	0.7%	1,161	1.2%	1,661	1.6%	2,506	2.6%	1,331	1.9%
ルーマニア	720	0.9%	613	0.6%	652	0.6%	437	0.5%	504	0.7%
ベトナム	351	0.5%	560	0.6%	659	0.6%	884	0.9%	542	0.8%
その他	5,640	7.3%	5,746	6.0%	4,047	4.0%	3,736	3.9%	3,108	4.4%
世界計	77,073	100.0%	96,433	100.0%	101,845	100.0%	95,575	100.0%	70,480	100.0%

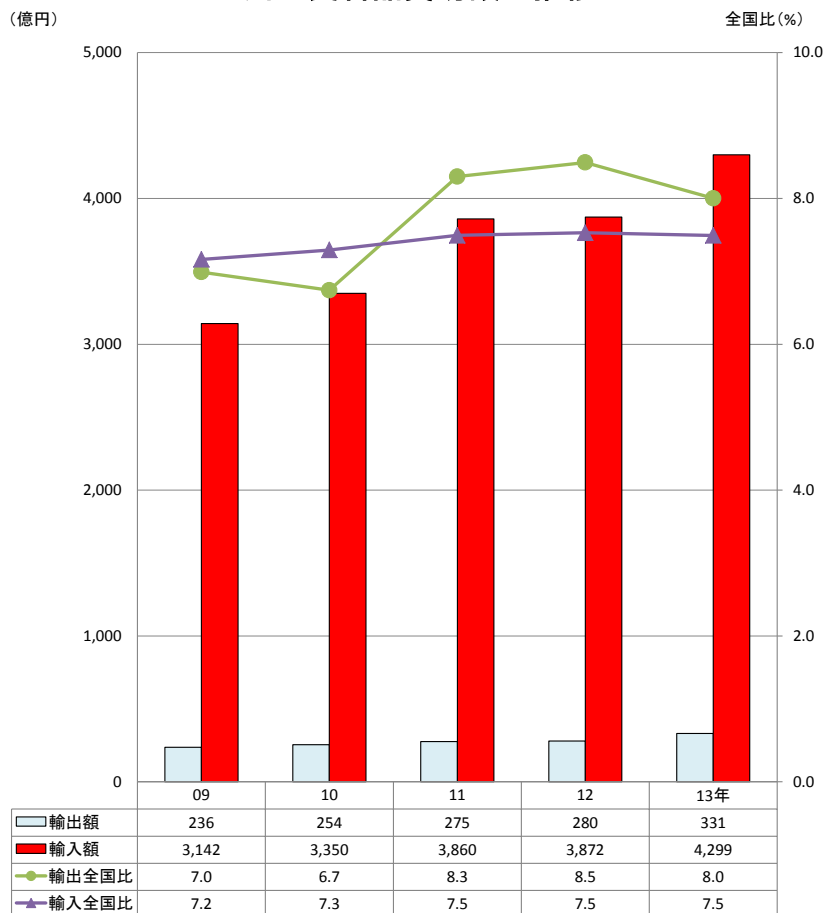
備考:九州の数値は、年度の鋼船船舶造船実績

九州の産業別貿易動向⑥－1（食料品・総括）

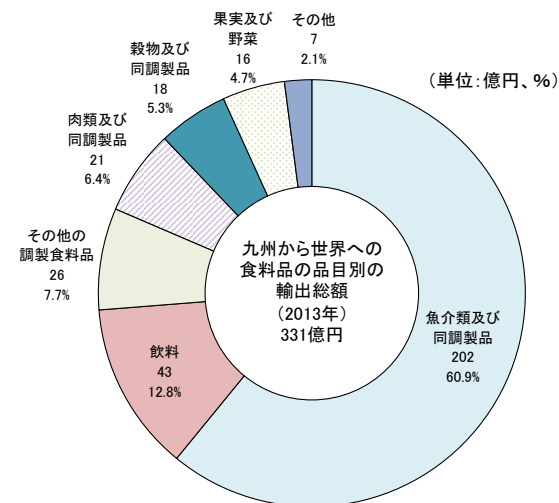
○2013年の九州の食料品の貿易額は、輸出が331億円（前年比18.4%増）で、輸入が4,299億円（前年比11.0%増）で輸出入ともに前年を大きく上回った。

○輸出はアジアや北米向けが多く、品目としては魚介類が過半を占めている。輸入はアジアや北米のほか、中南米や大洋州などより多様な国々との取引となっており、品目としては穀物類と魚介類が多い。

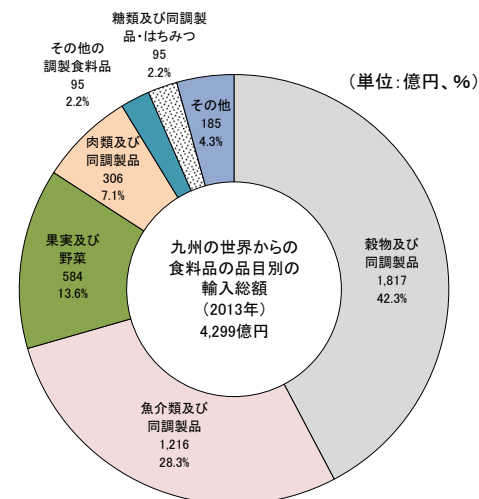
九州の食料品貿易額の推移



九州の食料品の品目別輸出額



九州の食料品の品目別輸入額

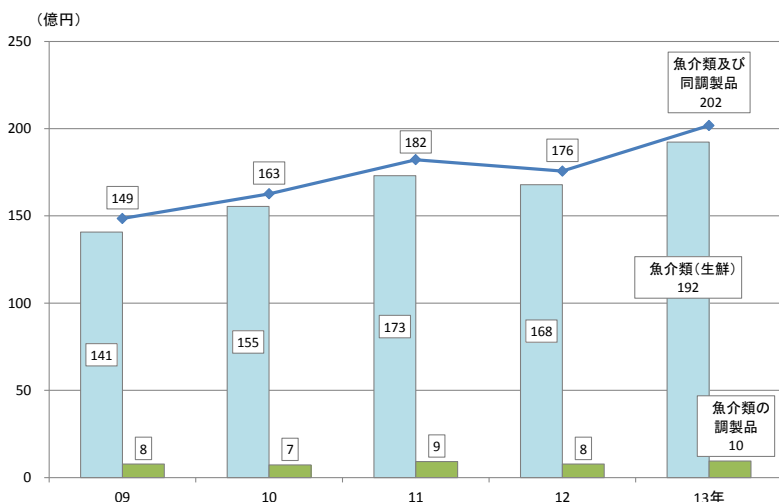


九州の産業別貿易動向⑥-2(食料品・魚介類)

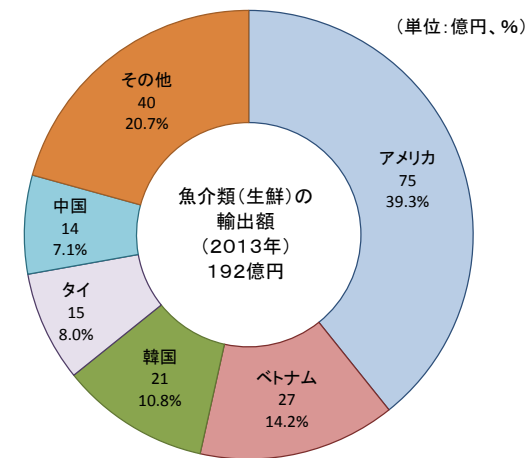
○九州の食料品輸出の中で最も構成比の高い魚介類及び同調製品の2013年の輸出額は202億円で、うち192億円が生鮮で10億円が調整品。

○魚介類(生鮮)については、アメリカ向けが最も多く、次いでベトナム、韓国等となっている。一方、魚介類の調整品については、香港向けが最も多く、次いでカナダ、韓国等となっている。

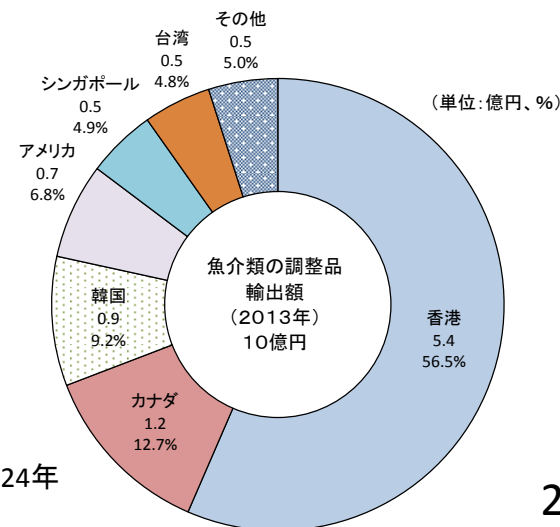
九州の魚介類及び同調製品輸出額の推移



九州の魚介類(生鮮)の輸出相手国・地域



九州の魚介類(調整品)の輸出相手国・地域



九州の漁業の生産動向

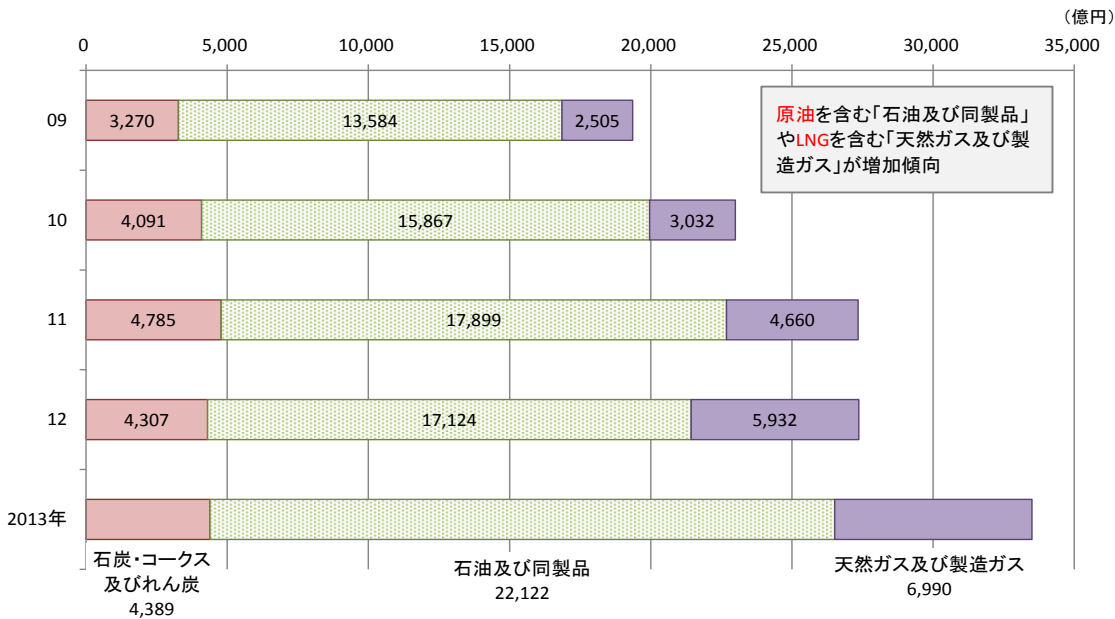


出所:財務省「貿易統計」、農林水産省「平成24年漁業生産額」より九州経済産業局作成

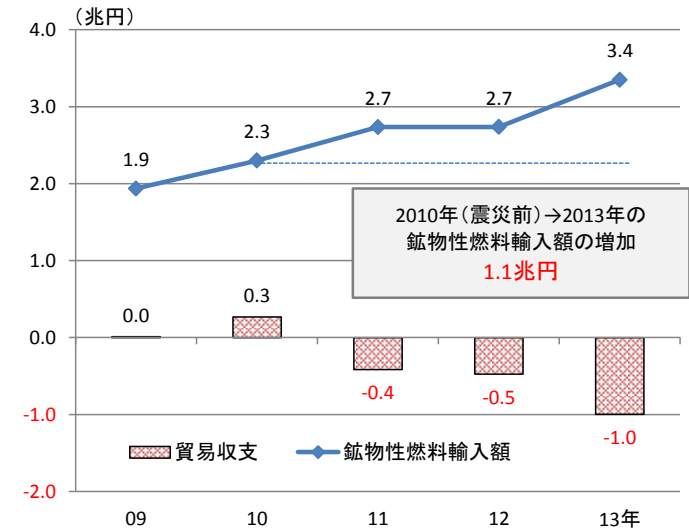
トピックス①-1 鉱物性燃料の輸入について

- 新興国を中心としたエネルギー需要の拡大、地域における紛争、経済状況の変化による需要動向の変動等に伴い、資源価格は長期的な上昇傾向とともに、国際情勢の変化に敏感に反応するようになっていきます(平成25年度エネルギー白書概要版より)。
- このような中、2011年の東日本大震災以降、我が国では火力発電用燃料として鉱物性燃料の需要が増加しており、九州においても鉱物性燃料の輸入額が増加(図表①)するとともに、貿易収支の赤字幅が拡大しつつあります(図表②)。

【図表①】九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移



【図表②】九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移

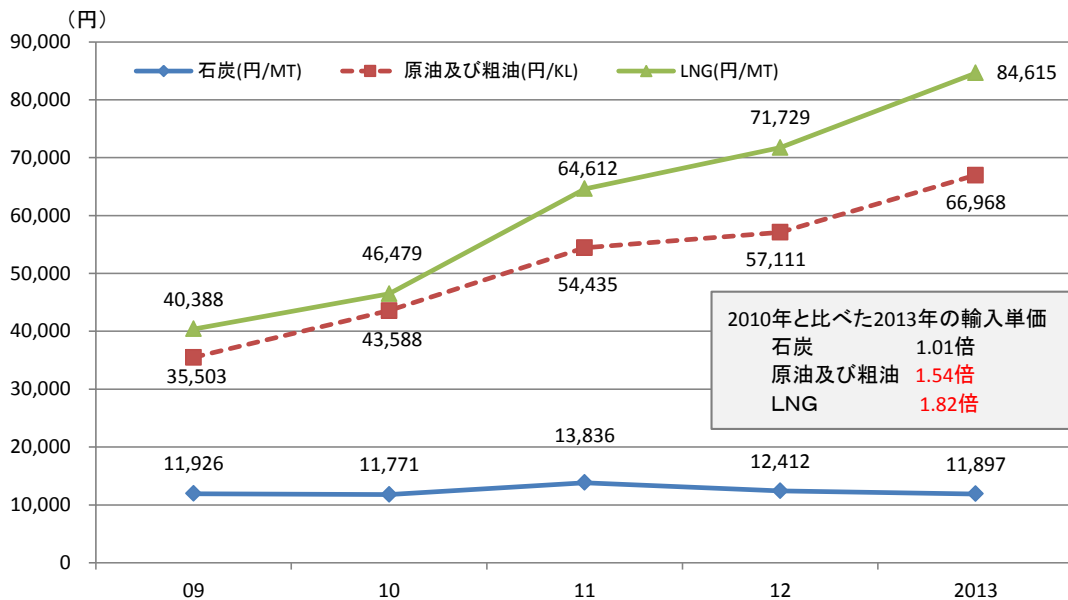


トピックス①-2 鉱物性燃料の輸入について

○ 鉱物性燃料の輸入額が増加している背景には、輸入量の増加に加えて(図表④)、原油やLNGの相場の上昇及び円安の進行等により、輸入単価が上昇していることが挙げられます(図表③)。

○ 九州は全国と比べて輸入総額に占める鉱物性燃料の割合が高いため(図表⑤)、鉱物性燃料の輸入額増加が貿易収支に与える影響がより大きくなっています。

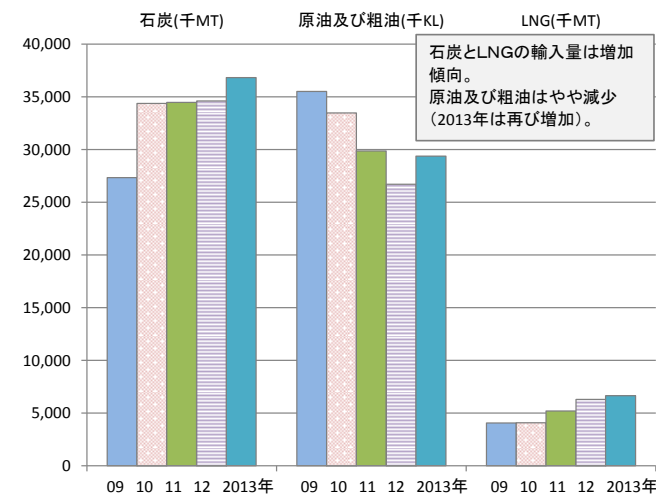
【図表③】九州の主な鉱物性燃料の輸入単価の推移



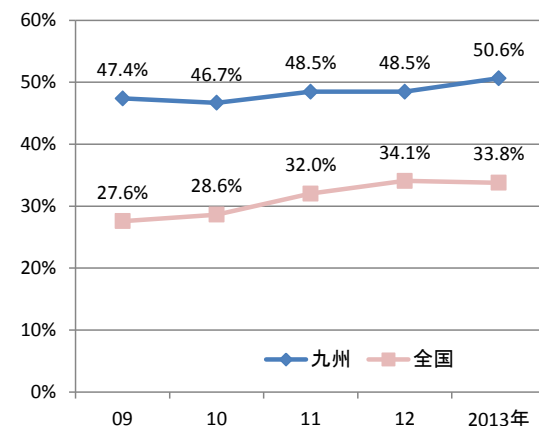
備考:それぞれの輸入単価は各年の輸入金額を輸入数量で割った平均値。

【図表⑤】九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合

【図表④】九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



石炭とLNGの輸入量は増加傾向。
原油及び粗油はやや減少(2013年は再び増加)。

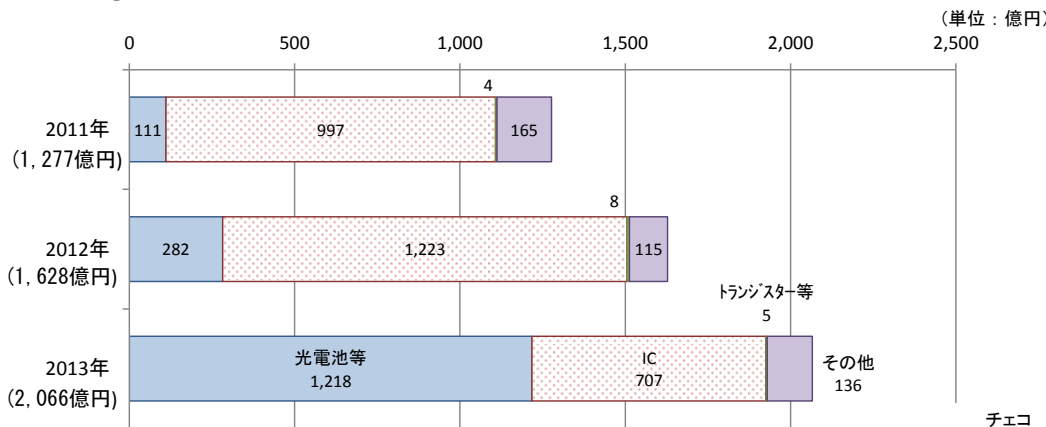


トピックス② 半導体等電子部品の輸入について

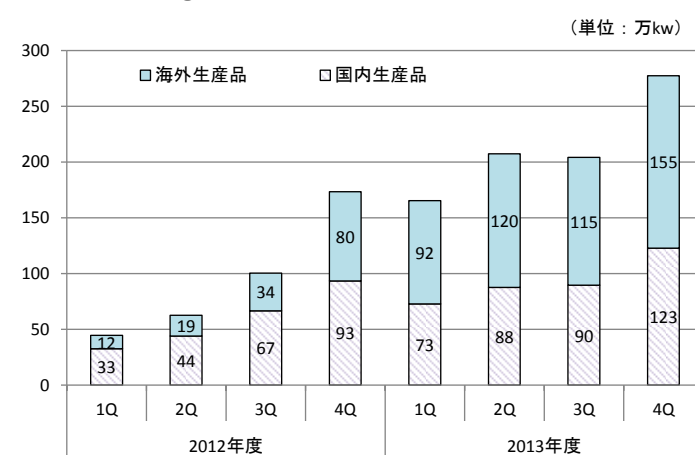
○九州の半導体等電子部品の2013年の輸入額は2,066億円(前年比26.9%増)と、前年より大幅に増加しています。その内訳について、詳細に見てみると、「光電性半導体デバイス(光電池を含む)及び発光ダイオード」(以下、光電池等と言う)が全体の約6割を占めており(図表①)、中でも中国からの輸入が多いことが分かります(図表②)。

○こうした背景には、2012年7月からスタートした「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」によって、太陽電池モジュールの国内出荷量が伸びており、それに伴って海外生産品の輸入が拡大していることが影響しているようです(図表③)。

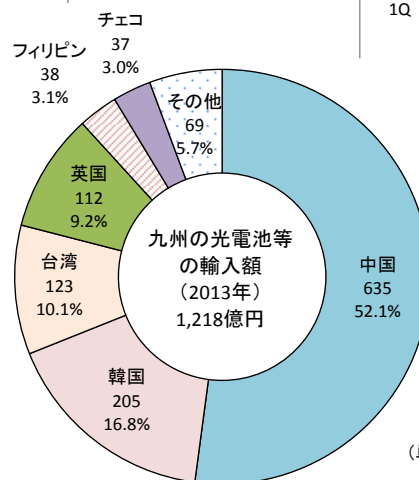
【図表①】九州の品目別の半導体等電子部品輸入額(2011～2013年)



【図表③】日本の太陽電池モジュール出荷量



【図表②】九州の光電池等の輸入相手国・地域(2013年)



(単位：億円、%)

トピックス③-1 九州の農畜産物の輸出について

○九州では温暖な気候や豊かな自然を利用して、様々な農畜産物が生産されています。九州の農業産出額は1兆6,601億円(2012年)で、全国の2割近くを占めており、ブロック別では関東に次いで全国第2位の産出額となっています。

○九州の農畜産物の多くは、九州内だけでなく、関東や関西をはじめ日本全国に出荷されているほか、いくつかの農畜産物については、海外にも輸出されています。

○ここでは、農業産出額の全国シェアが高い九州の農畜産物について、品目毎に2012年及び2013年の輸出動向を取りまとめました。

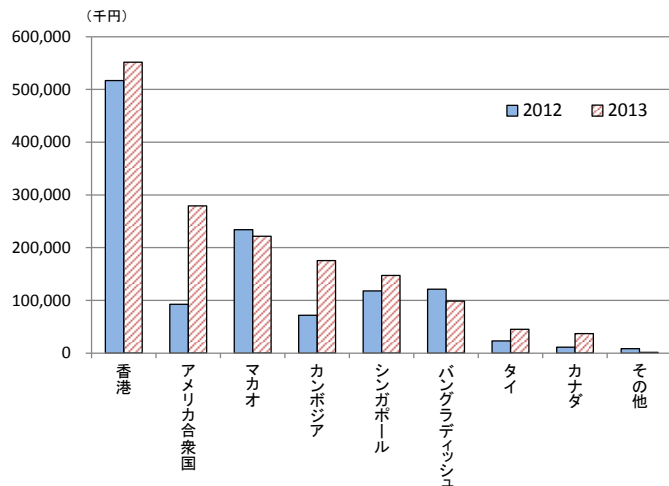
●農業産出額の全国シェアが高い九州の主な農畜産物(2012年)

(品目名と全国シェア)

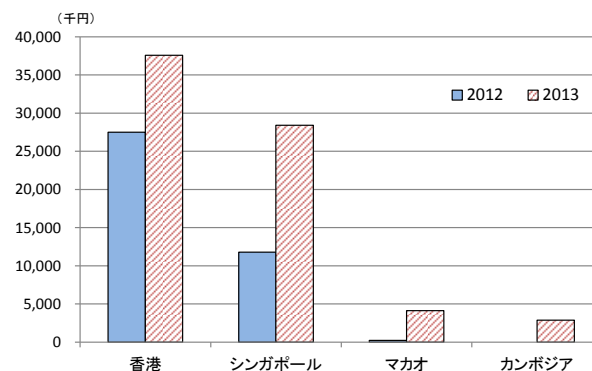
肉用牛	豚	ブロイラー	トマト
39.5%	28.9%	45.8%	28.6%
かんしょ	みかん	いちご	茶(生葉)
33.3%	32.9%	35.4%	38.8%

●九州の農畜産物輸出額(2012・2013年)

①牛肉(HSコード:02.01~02.02) <2013年輸出額全国比(26.9%)>



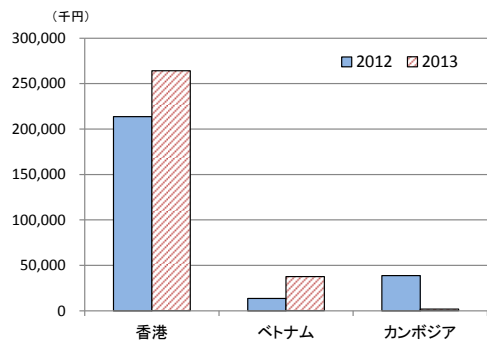
②豚肉(HSコード:0203) <2013年輸出額全国比(28.5%)>



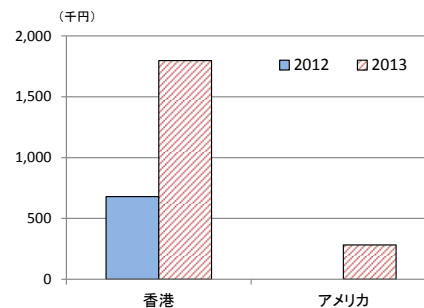
P27~28出所:財務省「貿易統計」、農林水産省「平成24年生産農業所得統計」、九州農政局「九州の農業(調べてわかる農林水産業の姿)」より九州経済産業局作成

トピックス③-2 九州の農畜産物の輸出について

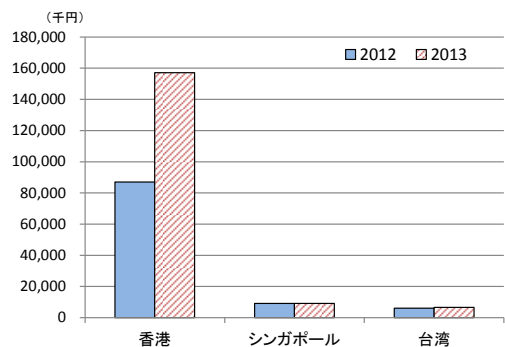
③鶏肉(HSコード:0207.11~0207.14) <2013年輸出額全国比(22.8%)>



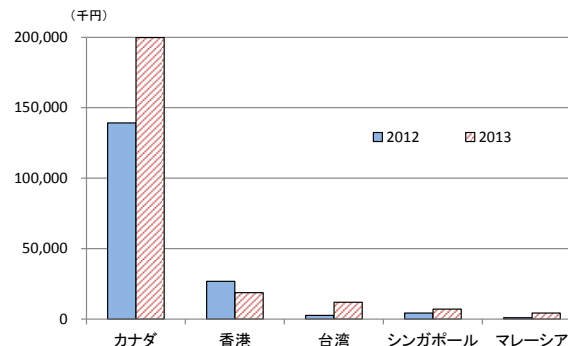
④トマト(HSコード:0702.00) <2013年輸出額全国比(55.1%)>



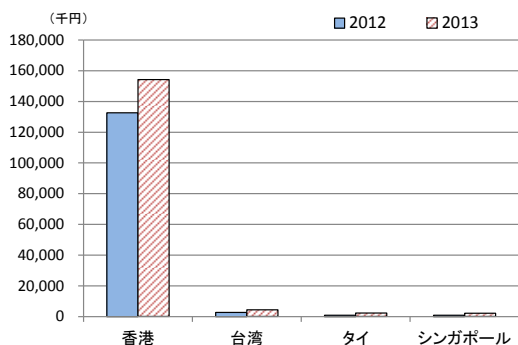
⑤かんしょ(HSコード:0714.20) <2013年輸出額全国比(55.4%)>



⑥みかん(HSコード:0805.20) <2013年輸出額全国比(45.2%)>



⑦いちご(HSコード:0810.10) <2013年輸出額全国比(67.9%)>



⑧緑茶(HSコード:0902.10) <2013年輸出額全国比(1.9%)>

